

指 示 書

年 月 日

名前 \_\_\_\_\_

性別 男 ・ 女

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

年齢 \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月

あてはまるものを○で囲んでください。

《 検 査 結 果 》

平成 年 月 日の採血の結果は、以下のとおりでした。

《アレルギー関係検査》

- ・ I g E ・ I U m 1
- ・ R A S T 卵白 ( ) 牛乳 ( ) 大豆 ( ) ダニ[D.P] ( )  
小麦 ( ) 米 ( )
- ・ その他 ( )

※可否の欄には、要除去のものは×、摂取可能のものは○を記載してください。

抗原の強さ	大豆食品・料理など	可否
強 ↓ 弱	大豆・おから・枝豆	
	植物油（大豆油）・スナック菓子・マーガリン ルウ（油脂として使用）	
	豆乳・豆腐・厚揚げ・油揚げ・納豆・きなこなど	
	味噌・醤油・小豆・もやし・グリーンピース ココアなど	

抗原の強さ	卵食品・料理など	可否
強 ↓ 弱	生卵	
	アイスクリーム・マヨネーズ	
	卵料理等① ・卵焼き・オムレツ・茶碗蒸し ・茹で卵・卵スープ・プリン	
	卵料理等② 天ぷら・フライなどの衣	
	卵を用いた菓子 ケーキ・カステラ・クッキー ・菓子パン・ホットケーキ・ドーナツ	
	つなぎに卵を用いた食品 蒲鉾・竹輪・ハム・ソーセージ・中華麺など	
	ハンバーグ・ミートローフなどのつなぎ	
	食パン・ロールパン・ソフトフランス	
	鶏肉・鶏レバー・鶏がらスープ・コンソメなど	
	卵を微量に含む食品及び料理 一部の食パン・天ぷら粉・麺類のつなぎ	

抗原の強さ	甲殻類食品	可否
強 ↓ 弱	甲殻類そのもの えび・かに・いか ( )	
	甲殻類を使用したスープ・菓子類など だし・ソースの一部など	

抗原の強さ	魚類・料理など	可否
強 ↓ 弱	魚そのもの ※要除去(×)の魚を列記してください。 ( )	
	魚類を使用したスープ ・菓子類など・だし・ソースの一部など	

《 病 名 》

アトピー性皮膚炎 ・ 喘息性気管支炎 ・ 気管支喘息  
その他 ( )

《治療方針》

- ① 除去食 ( 要 ・ 不要 )
- ② 投 薬 ( 要 ・ 不要 )
- ③ その他 生活上の配慮、注意事項等

《除去必要見込み期間》

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日まで ( 年 ヶ月 )

病 院 名 \_\_\_\_\_

担当医師名 \_\_\_\_\_ 印

抗原の強さ	牛乳食品・料理など	可否
強 ↓ 弱	牛乳	
	スキムミルク・生クリーム・アイスクリーム	
	粉ミルク・チーズ・ヨーグルト・プリン	
	バター・マーガリン・乳酸菌飲料	
	牛乳料理 クリームシチュー・グラタン・ホワイトソース・ ポタージュ	
	牛乳を多く使った菓子など ケーキ・チョコレート・ドーナツ・カステラ ・ホットケーキ	
	つなぎにカゼイン使用 一部ハム・ソーセージ	
	食パン・ロールパン・ソフトフランス	
	鶏肉・鶏レバー・鶏がらスープ・コンソメなど	
	加熱された牛乳やバターを少量含む食品 食パン・ビスケット・クッキーなど	
牛乳を用いた料理・ゼラチン・スープの素など		

抗原の強さ	小麦食品・料理など	可否
強 ↓ 弱	パン・うどん・パスタ・中華麺・マカロニ 小麦粉・パン粉・麩	
	大麦・ライ麦パン・麦（麦茶）	
	小麦を使用した食品 肉・練り製品のつなぎ・ルウ フライ・天ぷらの衣	
	小麦を使用した菓子類 ケーキ・クッキー類など	
	オートミール	
醤油・味噌・酢		

【その他】

□野菜 □果物 □そば □米 □ナッツ類 □肉 □魚卵 □ごま

※要除去(×)の食品を列記してください。